



御成門だより

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」
〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話 03-3436-3568 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-kyo.ed.jp



感 謝

校長 佐藤 太

先週で学年末考査も終わり、3月、弥生（やよい）月を迎えました。

弥生の「弥」は、「いよいよ」という意味。文字通り今のクラスでの学習や生活も、いよいよ最後のひと月、三年生は残り約2週間です。いろいろな思いが駆けめぐる3月ですが、一年間のまとめと次へのステップの月として、一日一日を大切に学校生活を送ってください。

さて、今年度後期から取り組んだ生徒会活動の「ありがとう運動」。生徒や教職員との学校生活で、感謝の気持ちや触れ合った人から受けた嬉しかったことを言葉にして花や星のカードに書き、伝える活動を続けてきました。カードを貼る模造紙も5枚目となり、カードに記された満開の桜や満点の星空を見ながら、先日、花や星の数を数えてみたら約726枚のカードに達していました。「〇〇先輩、いつも部活を盛り上げてくれてありがとう」「〇〇君、いつも黒板をきれいにしてくれてありがとう」「〇〇、相談にのってくれてありがとう」「クラス、学年の皆、先生ありがとう」「図書室へ、何時も面白い本を用意してくれてありがとう」「主事さん、私の見えない所で学校をきれいにしてくれてありがとう」「〇〇先生、いつも私達を笑わせて、楽しい授業をありがとう」・・・。

一つ一つを読みながら嬉しさが込み上げてきました。この活動は、後期からのスタートで、前期から始めていたら1000枚以上の「ありがとうの花」が貼られていたと思います。そしてカードには書かなかった生徒の皆さんも、一年間の仲間との学校生活の中で、ありがとうの思いをもつ場面がたくさんあったと思います。

何よりも私自身が、この一年間、生徒の皆さんの真剣に取り組む頑張る姿や、元気さ、素直さ、活発さから多くの力をもらい、励まされてきました。休み時間や放課後の友達との楽しい語り、クラスや学年の活動、日々の授業、給食の時間、専門委員会、定期考査、学校行事、生徒会行事、宿泊行事、部活動、区の連合行事。沢山のありがとうの場面に出会えました。ありがとうございます。

生徒会の皆さんの呼びかけのように私も、これまで以上に、ありがとうの言葉や思いが行き交う御成門中学校になってほしいと願っています。人は一人では生きられませんし、人間一人の存在は時には微弱で、人との関りで生きていく存在です。ありがとうの言葉や思いは、相手に感謝と敬意の思いを伝え、周りを笑顔にさせ、空気を変えます。発する者も受け取る者も周りの者もお互いを尊重し、思いやりの気持ちをもって生きるという“人として基本”の在り方を実感できるものです。心が温まり、また頑張ろうとする励みや勇気、エネルギーが湧き出てきます。このような生徒の皆さん積み重ねが、これまでの御成門中学校の良い校風、素敵な伝統を作ってきたのだと思います。

長い人類の歴史から見ると、平成という時代に私たちが同時に生き、御成門中学校という場所で出会って過ごした日々自体が、大変な奇跡的な出来事だと思いませんか。現在、地球上に約72億人もの人間が生き延びている中で、偶然にも263人の御成門中生が、この学び舎で出合っ共生活・学習していること自体が、奇跡的な出会いなのです。

今週の土曜日は、御成門中学校3大行事の「三年生を送る会」です。三年生への感謝の気持ちと一、二、三年生がそれぞれのステップへと上がる実力を見せてほしいと思います。



玄関前花壇のジンチョウゲの花が見事です。春はもうすぐですね。